

(参考資料)令和3年度 主要施策の成果に関する報告書 主要事業の前年度比較等

【生活環境部門】

(単位 千円)

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ 数
1	文化振興事業 (アクアワールド茨城県大洗水族館20周年記念事業分) (生活文化課)	-	75,000	75,000	アクアワールド茨城県大洗水族館20周年記念事業 (通年で行う誘客促進策の実施に係る補助)の増  75,000	(事業の成果) ・令和3年度下半期は、50万人近い入館者数となり、過去最多となった開館の年に匹敵する規模となった。  (今後の課題) ・水族館の魅力向上による安定的な経営 (目標入場者数: 108万人 (R4)、120万人 (R5) (中期経営計画))	R3: 44 R2: -
2	旅券事務費 (女性活躍・県民協働課)	112,450	67,232	△45,218	コロナ禍における旅券交付件数減に伴う市町村事務処理特例交付金の減 (前年度交付件数に応じて交付)  △46,404	(事業の成果) ・適正かつ円滑に旅券の作成を行い、8,456件を交付できた。  (今後の課題) ・市町村窓口職員の専門性向上を図るため、研修の実施等により市町村支援を行う。	R3: 53 R2: 51
3	CO2削減自発的実践 促進事業 (環境政策課)	-	5,000	5,000	普及啓発の事業費の増  5,000	(事業の成果) ・県民一人ひとりの自発的な「いばらきエコスタイル」の実践を促進するため、行動経済学に基づくアプローチ (ナッジ) を活用し、親しみやすい県公認Vtuberを活用した動画の公開や、転入・転居者向けパンフレットの作成・配布 (150千部) など、伝え方やターゲット、タイミングを絞ることで、効果的な普及啓発を実施することができた。  (今後の課題) ・地球温暖化対策を促進するため、引き続き、普及啓発活動を行う。	R3: 55 R2: -

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ 数
4	自然公園施設管理整備事業 (環境政策課)	13,035	346,442	333,407	筑波山の施設改修事業費の増 333,407	(事業の成果) ・新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、より一層の利便性向上を図るために必要な筑波山の施設改修(トイレ改修2棟、登山道整備3箇所)を実施した。  (今後の課題) ・引き続き、利便性向上を図るため、筑波山の施設改修を推進する。	R3:57 R2:55
5	霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業 (環境対策課)	462,237	562,408	100,171	補助実績の増等 100,171	(事業の成果) ・高度処理型浄化槽への転換が進んだ。 (単独処理浄化槽等から高度処理型浄化槽への転換基数 R2:815基→R3:876基)  (今後の課題) ・単独処理浄化槽から高度処理型浄化槽設置への転換を引き続き推進する。	R3:66 R2:64
6	不法投棄対策事業 (廃棄物規制課)	109,922	157,647	47,725	不法投棄等機動調査員の設置に係る経費の増 38,685	(事業の成果) ・令和3年4月から、不法投棄等事案対応の専門チームとして、不法投棄等機動調査員10人を新たに採用。各県民センター環境・保安課及び県央環境保全室に駐在し、監視パトロールを強化するとともに、悪質な事案に対しては、チームとして組織的に対応した。  (今後の課題) ・令和3年度の不法投棄事案の発生件数は171件となり、前年度197件から26件減少した。引き続き、監視・指導体制の強化等に取り組み、不法投棄事案の早期解決に努める。	R3:70 R2:67

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ 数
7	産業廃棄物処理施設 確保対策事業 (資源循環推進課)	4,148	80,696	76,548	新産業廃棄物最終処分場基本計画策定業務等に係る委託料の増  77,210	(事業の成果) ・生活環境の保全等に配慮した新最終処分場の規模や構造等を定める基本計画については、策定委員会での審議や市民意見を踏まえ、令和4年4月27日付けで策定した。  (今後の課題) ・基本計画に基づき、施設の基本設計を実施するほか、交通対策として、新設道路の測量・設計等を進め、新処分場の供用開始に向けて整備を進める。	R3:71 R2:69
8	生活基盤施設耐震化 等交付金事業 (水政課)	1,698,890	1,577,010	△121,880	補助対象事業者(市町村等)の 事業費減  △121,483	(事業の成果) ・水戸市外12市町、1企業団及び県企業局において、補助事業26件(前年度比9件減)を実施し、水道施設の耐震化等が図られた。 (R2年度末県内基幹管路耐震適合率44.8%[前年度比+0.7%])  (今後の課題) ・引き続き、本補助事業により、市町村等水道施設の耐震化等を推進する。	R3:74 R2:71
9	サイクリングの推進 (スポーツ推進課)	72,868	133,699	60,831	情報発信拡充等委託事業費の増  34,561 サイクルステーション整備補助金の増  6,540 レンタル自転車更新費用の増  12,505	(事業の成果) ・情報発信や広域レンタサイクルの取組などにより、コロナ禍においてもつくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者が約110,000人と前年度から5,000人増加。  (今後の課題) ・サイクルツーリズムの全県への波及による交流人口の拡大。	R3:75 R2:72

No	事業名 (担当課)	R2決算額 A	R3決算額 B	差引額 B-A	主な増減理由	事業の成果, 今後の課題	参照ページ 数
10	東京オリンピック・ パラリンピック推進 事業 (スポーツ推進課)	892, 410	263, 140	△629, 270	茨城県推進会議負担金の減 △310, 435 コロナ対策基金造成費の減 △407, 572 コロナ対策に係る検査委託料、 市町村等補助金の増 89, 752	(事業の成果) ・大会開催延期に伴う調整を図るとともに、感染症対策を踏まえた運営計画の見直しを行うなど、安心安全なオリンピック・パラリンピックの開催につなげることができた。 聖火リレー: R3年7月4日(日)～5日(月) 茨城カシマスタジアムでのサッカー競技: R3年7月22日(木・祝)～8月5日(木) (8日間・11試合)	R3: 77 R2: 73